

# 今として 未来

県環境アドバイザーからの提言

県内のごみの総排出量は二〇〇一年度実績で約八十一万トに上る。県民一人あたり約一・一キを排出している計算になるという。ごみを減らす手立てはあるのだろうか。

買い物すれば、否応なしに包装材も一緒に買うことになる。必要なのは内容物なのだが、衛生上あるいは利便性の名の下に消費者は包装材も買わざるを得ない。

このところ、スーパーマーケットではトレイ、ペットボトル、牛乳パック、スチール缶、アルミ缶などの回収に努めている。リサイクルという点では好ましいが、やはり目指すのは

## レジ袋有料化で意識啓発

減量(リデュース)だから、特に包装は最小限にしてみたい。

先ごろ訪問したドイツ、デンマーク、スウェーデンでは、ばら売り、量り売りで包装は極めて簡易だった。スチール缶やアルミ缶、ペットボトルなどの回収には、デポジット(預り金払い戻し)制度が定着し、減量化に威力を発揮している。

一方、日本ではレジ袋についてみても買い物袋持参の客は極めて少ない。多くのスーパーではマイバッグを持参した場合、ポイントカードにスタンプを押し、20ポイント

【あらい・やすえ】

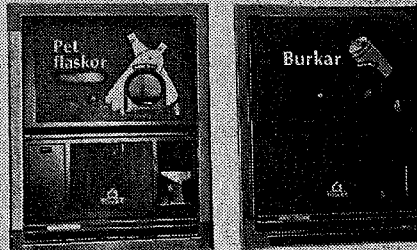


高崎市井野町。群馬大工学部卒。ヤマト環境建設部。県環境アドバイザー。ごみ問題部長。NPO法人FG21。善玉菌を増やす会。

### ごみの減量について

## Pantinlämning

PETflaskor Burkar



スウェーデンのスーパーマーケット内にあるペットボトル缶の回収装置

る消費者がいる限り現状は改善されない。企業間で話し合ってレジ袋の有料化とポイント制度を併用したらどうだろうか。

袋についてみても買い物(買い物二十回分)でリサイクルティッシュペーパー一箱、40ポイントで現金二百円と交換してくれる。ただ、こんな特典を多くは知らないのではないかと。もっとPRすべきである。

前出の三国はいずれもレジ袋は有料だ。日本のように無料(実は商品の値段に上乗せしている)でレジ袋は出も働くはずだ。

(新井 靖衛)

広